

# いわき湯本病院

小野 雄太郎 (リハビリテーション部 主任 / 理学療法士)

- 功 績
1. 定員増床に伴う、2年半にわたる持続的かつ劇的な稼働・収益の向上
  2. 地域における「短時間・運動特化型」ブランドの確立
  3. 困難な「1日3回転送迎」を実現するチームビルディングとロジスティクス構築
  4. 次の成長を見据えた先見性と戦略的アクション

推薦者氏名 リハ部長 / 荻津 明

推薦理由 当院の通所リハビリテーションにおいて、H5年8月に実施したサービス体制変更（1日3回転）という経営上の大きな挑戦に対し、約2年半にわたる弛まぬ努力により、利用者数を当初の2.5倍、月間売上を2.5倍以上へと劇的に成長させました。

「1日3回転モデル」を現場の強い結束によって定着させ、地域における当院のリハビリブランドを確固たるものにした同主任の功績は極めて大きく、本年度の理事長賞として強く推薦いたします。

## 内 容

同主任は、H5年8月に実施したサービス体制変更（1日3回転）において、「地域に本当に必要とされる通所リハビリを創る」という強い使命感のもと、2年半にわたり現場改革を継続してきました。

当初は1日平均利用者数20.0名、月間売上約211万円という厳しい状況からの出発でした。しかし同主任は、単なる利用者数の増加ではなく、「短時間でも確実に運動効果を実感できる場」を徹底して磨き上げることを選択。その結果、H7年秋には1日平均約50名規模、月間売上500万円超（最大約534万円）へと成長を遂げ、事業を持続可能な軌道へと導きました。

特に評価すべきは、地域のケアマネジャーから「運動目的ならまずここ」と言われる信頼を築き上げた点です。予約枠が即時充足する状況は、数字以上に“地域から選ばれている証”であります。

また、定員20名規模で1日3回転という困難なモデルを、運転手を含む多職種と丁寧に連携しながら安全に運用し続けています。負荷の高い体制であっても事故なく回し続けている背景には、現場を尊重し、チームを信頼し、共に成長するというリーダーとしての姿勢があります。

さらに現在も、要支援者の戦略的獲得やキャンセル率低減など、次なる課題に主体的に挑戦しています。現状に安住せず、「より良いサービスを地域へ」という志を持ち続ける姿は、健育会の理念を体現するものであり、職員のプロとしての使命感を象徴する存在です。